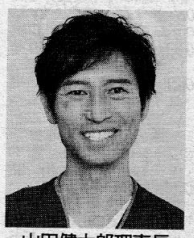
おしえて！ドクター Doctor Vol.50

インプラント治療は歯科用CTのある歯科医院を選ぶ

体の病気は自然に治ることがあっても、歯の病気は、何もしないで治るものは1つもない。しかも、歯を抜いてそのまま放置しておくと、大変なことになる。

「歯が抜けたまま放置していると、どんどん歯のバランスが崩れて、大変なことになってしまいます」



山田健太郎理事長

「歯が抜けたまま放置していると、どんどん歯のバランスが崩れて、大変なことになってしまいます」と話すのは、キャナルコート歯科クリニック理事長で歯科医の山田健太郎医師。

抜けてしまった歯の治療には、ブリッジ、入れ歯、インプラントの3つの治療法がある。

「その中で、もっとも患者さんの満足度の高い治療法はインプラントです。といっても、前歯は審美的にブリッジの方がいい場合もある。すべてにインプラントがいいというわけではありません」

インプラントは、なぜ満足度が高いのだろうか。

「インプラントとは、歯の抜けたところに人工の歯根を入れ、歯を作る治療法。まるで天然の歯のように硬い食材でもバリバリ噛むことが出来ます。ブリッジと違って、残っている歯に負担がかからないし、入れ歯のような違和感がないのも大きなメリットですね」

ただし、インプラント治療をする場合は、歯科医の技術と、医院の設備がどこまで整っているかを見極めることが重要になる。

「3次元映像が撮れる歯科用CTが導入されている医院を選ぶことが何よりも大切です。歯科用CTなしでは、インプラント手術の正確なプランも構築できませんし、手術ミスをしていても気がつかないことがある。例えば、インプラントの方向がずれてしまい、あごの骨を突き抜けていたとしても、2次元映像では確認できません。歯科医自身もミスに気づいていないままのケースがあるのです」

あごの骨の硬さ（骨密度）や厚みも重要なポイント。これも歯科用CTで事前に分かる。

「あごの骨が痩せている場合はインプラントは出来ないと言われたら、その歯科医にはできないのだと解釈してください。骨を移植する治療が可能な歯科医院であれば、インプラント治療は可能になります」

インプラントは、正しい形で確実な治療を行えば、10年後生存率は98％近いという。

「ただし、しっかりした衛生状態が保たれていることが大切。当院では永久保証をしていますが、定期的なメンテナンスに来ていただくことが条件になっています」

インプラントでも、治療すれば一生大丈夫というわけではない。メンテナンスは必要なのだ。

【取材協力：キャナルコート歯科クリニック】東京都江東区東雲1―9―22（☎03・3532・4618）

2015年6月15日付　日刊ゲンダイ